



# 消防大学校だより

## ■ 新任消防長・学校長科(第5期・第6期)

消防職員として消防業務に従事した経験を有しない者が新たに消防長・消防学校長となる場合には、消防長・消防学校長としての能力を養成するために、各都道府県を中心として実施する「新任消防長の教育訓練(5日間)」及び消防大学校で実施する「新任消防長・学校長科」を受講する必要があります。本年度も「第5期(38名)」(平成20年5月7日から5月16日まで)及び「第6期(43名)」(平成20年5月21日から5月30日まで)の総計81名が受講しました。

この学科では、消防庁長官、国民保護・防災部長、審議官から最新の消防・防災行政についての講話を聴講するとともに、様々な消防行政の課題について意見交換を行いました。

また、危機管理、惨事ストレス対策、情報管理、緊急消防援助隊の応援・受援体制など、近年の消防が抱える諸課題についての講義を受講しました。

さらに、実科訓練においては、消防学校のマルチメ



指揮シミュレーション訓練

ディア教室を使用した現地指揮本部と消防本部の様々な役割を体験する「指揮シミュレーション訓練」、災害時の想像力を養う「状況予測型図上訓練」のほか、消防長としての大隊運用要領を習得するために、東京消防庁の教育支援隊の協力を得て、実際の災害時対応に重点を置いた即応能力の向上を目的とする「消防活動指揮訓練」など実践的な訓練を行いました。

そのほか、視察研修としての東京消防庁第八消防方面本部消防救助機動隊(ハイパーレスキュー)の最新鋭の特殊装備や24時間体制で活躍する装備部航空隊の活動状況をそれぞれ視察しました。

これらの研修を通じ、最高幹部として必要となる知識や対応能力の向上に多くの成果を得ました。

この研修期間中で習得した知識、技術、情報及び全国的なネットワークをもとに各消防機関のトップとして、更なる活躍をされるよう期待します。



消防活動指揮訓練

## ■ 上級幹部に相応しい人材を育成する～幹部科編～

消防大学校では、上級幹部として必要な消防に関する高度な知識及び技術を総合的に修得することを目的として今年度も幹部科(第10期～第14期)を開講します。今回

ご紹介する幹部科第10期(以下「10期生」という。)は、校内の桜が見頃の4月10日に消防大学校に入校し、梅雨入り直前の5月28日に卒業しました。